

2年	課題分析	授業改善策	新学習指導要領に向けて	評価(◎○△)
国語	<p>○書くことに苦手意識をもつ児童が多く、読むことや書くことの指導に時間がかかる。</p> <p>○漢字の定着に個人差が見られる。</p> <p>○自分の考えの理由をに時間がかかることがある。</p>	<p>○読解のスキルを分かりやすく身に付けられるように、スモールステップの学習を取り入れる。また、単元ごとに身に付けたい力を絞って単元計画を考え、年間を見通して積み上げる。</p> <p>○言語活動「それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動」を多く取り入れ、意欲につなげ、思考力、判断力、表現力を育てていく。</p> <p>○様々な形式の書く活動を意図的に取り入れ、基礎的なスキルの向上とともに、伝える楽しさを実感させていく。書き慣れることと、語彙を増やすことを目的として、日常的に日記や短作文に取り組むようにする。</p> <p>○授業の中では、新出漢字の習得時に言葉広げなどをして、語彙力とともにスキルを高めていく。また、個人の能力に合った漢字練習法を提案し、自分に合った方法を身に付けさせる。</p>	<p>【言葉による見方・考え方】言葉の意味・関係、使い方などに着目しながら、スモールステップで文章を書いたり、メモしたりするなど自分の思いや考えを言葉で表現する活動を多く取り入れる。</p> <p>【対話的な学びの視点からの言語活動の充実のための工夫】ペアやグループ学習を取り入れ、相手に伝わるよう話したり最後まで聞いたりする経験を積ませ、言語活動の充実を図る。</p>	
算数	<p>○問題文から演算決定をするための情報を読み取る力が弱い。</p> <p>○様々な大きさに対する量感が不足しており、単位の換算(m→cm、kg→gなど)が未定着な児童がいる。</p> <p>○身の回りの事象を簡潔に表現するために、グラフを活用できる児童が少ない。</p> <p>○ベーシックドリル診断シートの結果、「式の表し方」「箱の形」の定着に課題があることが分かった。</p>	<p>○他教科での学習に概数の考えを用いたり、生活の中で概数を用いる場面を想起させたりして活用する力を養えるようにする。</p> <p>○問題文をよく読んで、図に整理する学習を繰り返す、元にする量を捉えることができるようにする。</p> <p>○小数の四則計算の反復練習を学習の初めに行い、基礎的なスキルの向上を目指す。</p> <p>○ベーシックドリルを活用し、課題のある領域の定着を図っていく。</p>	<p>【学びに向かう力・人間性】数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとする態度を養うようにする。</p>	
生活	<p>○自然や社会との関わりが体感できるような学習活動の場を設定することが難しい。</p> <p>○気づきや思いを見とり、次の活動へつなげていく場面の設定が難しい。</p> <p>○考え方などを発展させたり、より工夫したりすることへの意欲が低い。</p>	<p>○興味関心を広げるために、一人一人のよさや気づきを子供たちがお互いに認め合えるような学習活動を取り入れる。</p> <p>○季節を感じたり、植物を育てたりする機会をできるだけ多く設定する。</p> <p>○毎時間、関わる児童を絞り、個の見取りができるように活動の展開を工夫していく。</p> <p>○ペアやグループ学習などを用いて、児童相互の学びを生かし、より発展的な見通しがもてるようにする。</p>	<p>【学びに向かう力・人間性等】自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察や実験を行い、その結果を基に考察し、結論を導き出すなどの問題解決の活動を充実させる。</p>	
音楽	<p>○音楽の学習に向かう意欲に差がある。</p> <p>○歌唱においては、自分の歌声を大切にしながら相手の声を聴いて合わせて歌うことに差がある。</p> <p>○器楽においては技能に個人差がある。</p> <p>○楽曲の特徴や楽しさを見つけることができない児童もいる。</p>	<p>○常時活動でリズム遊びやリミックなどを取り入れて体全体で拍を感じとれるようにし、一人や少数人数での発表の場面も取り入れていく。</p> <p>○友達と声を合わせて歌う楽しさを感じ取れるよう、楽曲の選択や指導方法を工夫する。</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】「考えたこと」に加え、「選択・判断したこと」を文章で記述したり資料などを用いて説明したり、話し合ったりする力を養う。</p>	R2夏完了
図画工作	<p>○「感性や想像力を働かせ」て、「表現したり鑑賞したりする」資質・能力を、スパイラルに育成する必要がある。</p> <p>○思考力・判断力・表現力等を高め、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、学習の場面が言語活動か、非言語活動を意識して取り組む必要がある。</p> <p>○生活を豊かに美しくする造形や美術の働き、美術文化についての理解を進める学習を充実させる必要がある。</p>	<p>【内容】○「表現・鑑賞」全ての造形活動に「造形遊び」の要素を取り入れ、児童が楽しく主体的に活動できる中で、感性や想像力を育てていけるようにする。</p> <p>○鑑賞の対象の幅を広げて「生活の中の造形」等、作品以外にも「鑑賞」の目を向けられるように育てる。</p> <p>○【共通事項】アの、形や色などを造形的な視点でとらえられるように、一部に“知識”も用いる。</p> <p>【指導】○「A表現」の指導にあたり、児童が自分の良さや可能性を見出せるようにする。</p> <p>○楽しい内容で、主体的な活動ができるようにする。</p> <p>○言語活動を「B鑑賞」のみから、「A表現」でも扱う。</p>	<p>○図画工作科においては心と体を使って(触れたり、)感じたりする体験や、人との関わりを通して良さや価値を実感する活動を重視している。「主体的、対話的で深い学び」の視点に立ち、活動と学びの関係性や、活動を通して何が身についたのかという視点から、学習・指導の改善・充実を進める。</p>	R3夏完了
体育	<p>○走る、支持する、投げるなどの基本的な動きに個人差が大きく、実態に即した課題作りが難しい。</p> <p>○鉄棒・うんてい・登り棒などでは、体を支持する力や体の各部の動かし方に個人差がある。経験不足や恐怖心の強さなども課題がある。</p> <p>○全体的に運動に意欲はあるが、苦手意識や不器用さなど、自分の身体イメージがとれない児童がいる。</p>	<p>○意欲を高め、技能のポイントを学びやすくするために、学習の場を工夫する。一人一人の目標や課題意識をもって、練習に取り組めるように様々な活動ができるようにする。</p> <p>○授業の前半に、不足する力を補い、基本の動きを高める運動を取り入れる。</p> <p>○良い動きのチームや児童の様子を観察させる。互いに教え合ったり、工夫したりする場を設ける。</p> <p>○スモールステップで取り組ませることを心掛け、運動遊びの楽しさに触れる機会を作る。</p>	<p>【学びに向かう力・人間性等】各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。日常生活の中でも、友達との関わり合いや、様々な運動遊びを経験させていく。</p>	